



さゆりっ子

幼小の連携

～分散型参観日 園長講話より～

本日は分散型参観日に、おいでいただきありがとうございます。しばらくの間、お付き合いください。

運動会、今年も楽しかったです。年長さん、とってもいい演技を見させてもらいました。

園長だよりにも書きましたが、「咲かせよう伝説の花」のテーマのもと、子どもたちが話し合って決めた技を一つひとつ精いっぱい表現してくれました。本園のめざす「主体性を大切に保育」を示す、とってもよいコマでした。



「全力で取り組んだ(好きだった)」仕事

37年間の教員生活の中で真っ先に浮かんでくるのが、「理科教科書編集」です。3～6年生が使う理科の教科書づくりにのべ15年程関わらせてもらいました。

長野県は古くは明治期から全国で唯一、独自に教科書をつくることに取り組んできました。「教育県」と言われる所以でもあるかと思います。検定を合格するためには文部省の意見をもとに修正していく必要があります。一冊に200～300ヶ所にもなりました。全県の子どもたちが「楽しく身近な自然を通して だれでも 学んでほしい」という願いがあるからこ

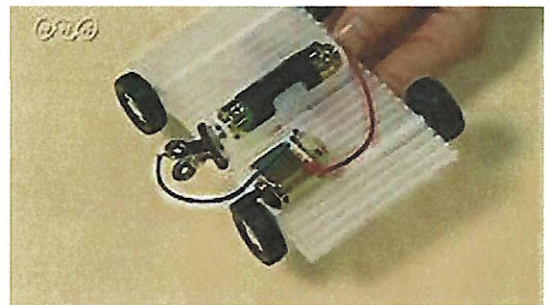
そ取り組めたと思います。

一番多忙の時は毎週火・木・土曜日の夕方18:00～22:00 年間100回を超える会議でしたから、自分でもよくやったなあ実感します。家族にも本当に感謝しています。

4年生の「電流のはたらき」で使う「モーターで動く車」です。ちょうど私が教科書を編集していた時に始まった内容ですが、「材料は身近で用意できるのか」「だれでも作れて、実験できるのか」「もちろん結果がどのようになるのか」「乾電池に替わって光電池でも動くのか」等々何度も実験、議論したのを覚えています。

そんな中で自分自身が「考え続ける 楽しさ」「わかる 面白さ」「夢中になれる 充実感」、そして「つながる 大切さ」を実感してきました。理科という教科が小学校から始まり、中学、高校、大学、将来の職業につながっていく方も大勢いることを考えるととても素敵な仕事だったと今でも思います。

そして、さゆり幼稚園に勤務するようになってからも、発達に応じて「つながる 大切さ」を感じた時が何度かありました。年長さんの卒業も小学校とつながるとても大事な機会である思いがより強くなりました。



今年の夏休み、猛暑の中、東京に行ってきました。

目的は幼児期から小学校へつながる「スタートカリキュラム」をもっと考えたいでした。

「主体性」を大切にしてきた園児たちが小学校でも変わらずに活躍してほしい。

そのためには「幼児期と児童期を行きつ戻りつしながら」がポイントになります。

小学校だから…みたいなギャップはできるだけ小さくしてあげたいですね。

受け入れる保育士、教師の認識が最も大事になりますが、「子どもは有能な学び手である」誕生した瞬間からたくさんのお話を吸収し、成長していく姿には本当に驚かされるばかりです。

そんな子どもたちが「入学」を境にして「できること」は「0」になりますか、幼稚園までに培ってきた上に立って更にできることが広がってほしいですね。

そのために「興味・関心・わくわく感を大切に」「子どもに聞く」は幼稚園と同じです。「考えないスイッチが入らないように」一方的な指示で進めない。「お勉強も正しいやり方を身に付ける」ことが目的ではない。「どうして」「どうやって」「こうしたい」子どもたちの思いが繋がっていく活動を大事にしてほしいということです。

そして夏休み明け、さゆり幼稚園とはなにかと縁のある戸倉小学校の校長先生を訪ねて「幼小の連携」について懇談してきました。

小学校は「個別、最適な学習」と「共同の学習」を充実させていく。幼稚園のことばで言えば「主体性を大切にしたい学び」ということになると思います。



1年生の生活科で「学校探検」という活動があります。

目標はどのようにしたらよいでしょうか。

- ①どんなお部屋があるかを知り、学校生活を送るためのきまりを知ろう。
 - ②子どもたちが感じた「はてな？」を解決するために学校を探検しよう。
- そうですね。②が理想です。「体育館って広いね。どんなことをやるのかな?」「幼稚園とおんなじでお話を聞くとときもある、遊ぶときもあるね。楽しみだな。」この後きっと、休み時間に行ってみると「1年生が遊べる日が決まっているよ。」「どうして?」なんてつながっていくのかなと思います。

戸倉小学校では『地域を知り、地域を学ぶ「戸倉学」』に取り組んでいるそうで、とても楽しい取り組みだなあと感じました。

さて、さゆり幼稚園に戻りますが、年中さんの障害物競走は6つの障害物から自分で選んで走りぬくユニークな工夫がされていました。

年少さんからはお友だちとのかかわりを思い切り楽しんでいるドキュメンテーションが届きました。

幼稚園でも先生方は熱心に子どもが活き活きと活動する保育に取り組んでいます。

これからも子どもたちのために子どもたちを真ん中にして 具体的に姿で語り合える場を小学校とも作っていきたいと思います。

本日はご清聴ありがとうございました。

